



TOKYO
SHIMBASHI
ROTARY CLUB
JAPAN
2016/2017



国際ロータリー2750地区
東京新橋ロータリークラブ

A City Alive with Green and Water
街に緑と水を

WEEKLY REPORT



年次標語「みんなで繋ごう、奉仕の和」

1439号 2017/5/9

本日の卓話

「国防と国家財政、超高齢化社会のひずみ」

公認会計士 守屋 俊晴 氏

(ご紹介 加藤和子 会員)

～～前回の例会～～

「唄半給金～蔵人たちの仕事唄」

聖徳大学 音楽学部 音楽総合学科

教授 茂手木 潔子 氏 (河村守康会員 ご紹介)



日本の伝統音楽(唄)は、もともと楽譜がなく、伴奏する楽器は唄い手の声に併せて行う”人を中心とする世界”であり、臨機応変・自由自在に表現します。「酒屋唄(酒造り唄)は、酒造りの工程に沿って蔵人(蔵で働く酒造技術者)が歌う仕事唄です。酒造りは非常に重労働な為、歌を唄うことによって少しでも苦痛を乗り越えられることを意図しています。ですから、唄の調子でその日の仕事の様子が分かるほどです。蔵人は歌を唄えないと仕事にならず、給金の半分は唄えることが大切です(唄半給金)。この風習は昭和 30 年代頃まで続いていました。合唄はなく偶然のハーモニーがあり、それぞれ唄い手の声の質が異なる交わりの中で音色の魅力を創っていきます。蔵人はそれぞれ自分の音楽を持っており、揃える所は揃えながらも独特のハーモニーを創り出します。

酒屋唄を歌う目的は、①動作を合わせる ②仕事の精度を高める ③量を量る ④時間を計る ⑤勤務状態のチェック ⑥安全祈願 ⑦眠気を振り払う ⑧寒さを凌ぐ・寂しさを紛らわせる ⑨共同体の確認 ⑩娯楽 などです。

越後で伝承された酒屋唄の種類は、①総起 ②流し唄 ③桶洗唄 ④米研ぎ唄 ⑤数番唄 ⑥酛すり唄 ⑦二番櫓 ⑧三ころ ⑨仕込唄 ⑩酒屋数え唄 などがあります。

第1486回例会報告

■ 4月25日例会プログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング「それでこそロータリー」
本日の歌「鉄道唱歌～東海道編～21番」
3. 会長報告 4. 委員会報告 5. 卓話
6. 点鐘

■ 出席報告

4月25日出席者 36名
ビジター 2名 ゲスト 1名 出席率 64%
4月18日出席者 37名
メーキャップ 8名 計45名
会員数 58名 出席対象者 56名
修正出席率 80%

■ ビジター(敬称略)

児玉 裕司(東京西) 足立 勲一郎(東京南)
天野 聖造(ゲスト)

<ニコニコボックス>

河村 守康 卓話に茂手木先生をお迎えして。
松井 秀文 ①誕生日に柿崎のお米を有難うございました。
②22日の土曜日、ゴールドリボンウォーキングは曇り空ながら3800名の方々に参加いただき、盛況裡に終わることができました。有難うございました。
垂澤 清三 お誕生日に美味しいお米を頂きました。ありがとうございます。



スペイン 古都トレド(画 長野 洋会員)



茂手木 潔子氏による卓話の様子



長尾会長 会長報告の様子

ふれあいの場

○会長報告(長尾会長)

・前回の例会では東京レインボーロータリークラブから移籍予定の皆様をお迎えしました。会員同士で親睦を深めて頂きたいをお願いします。

○幹事報告(上田幹事)

・次週5月2日(火)の例会は休会です。次回例会は5月9日(火)になりますのでお間違いないようお願いします。

・2018年の青少年交換留学生の推薦・応募が始まりました。5月21日(日)に説明会が開催されます。海外に留学したい学生がいらしたら事務局にお問い合わせください。

○委員会報告

・5/26(金)観劇会は新橋演舞場にて「東をどり」を鑑賞します。チケットは20名分を事前購入しております。また懇親会は「竹葉亭本店」で行います。花水木の皆様にもお声掛けの上ご参加をお願いします。(富岡親睦委員長)

次回例会の予定

5月16日(火) 13:00より

「慈恵医大の源流と高木兼寛」

学校法人 慈恵大学

理事長 栗原 敏 氏

(ご紹介：阪口耀子会員)



花の大聖堂 フィレンツェ

(画：長野 洋 会員)



東京新橋ロータリークラブ

事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3F

TEL 03-3502-7801 / FAX 03-3502-7802

会報委員会 委員長 高橋秀一郎 副委員長 伊賀大祐 委員 富岡洋一 中井隆三 福本正勝 関 隆利